

校報「にはやし」



能代市立朴瀬小学校

学校教育目標

「夢をいただき、強くたくましく生きる子どもの育成」

平成30年10月15日 24

ホームページ版は一部内容を変更しています。

ふるさとが学びのフィールド

農業体験学習・・・ネギの植え付けから販売まで・・・

秋田県内各地域で稲刈りが行われ、新米も出回るようになりました。そして、朴瀬小学校にも収穫の秋がやってきました。

6月6日(水)に植え付けの体験活動をしたネギが成長し、いよいよ販売体験学習をすることになったのです。二週間前に少しだけ収穫し、だまこ鍋交流会でいただいたネギを本格的に収穫することになりました。

10月10日(水)、本当は11日に収穫予定でしたが、この日は雨が降るとの予報がありましたので、1日早く、全校でネギを収穫しました。さん、地域の皆さんのご協力のもと、全校児童で取り組みました。

今年は、J Aの方が収穫に立ち会って下さいました。

それは「白神ネギ」として販売していいかどうかを検査して決めてくださるためです。検査結果、見事「白神ネギ」として販売体験活動ができることになりました。

昨年度よりも学習が大きく一歩前に進んだ出来事でした。



【地域の皆さんとネギの収穫をする子どもたち・・・今年も立派なネギがたくさんできました！】

11日(木)はネギの製品化に取り組みました。この日もさん、

さん、そのご家族の皆さんにご指導をしていただきました。

最初に、ネギの根を切る作業をしました。

機械にネギを置くのですが、赤い線の所にちょうどネギの根の上になるように置かなければなりません。うまく置かないと、商品になりません。4年生以上の子どもたちがその作業に取り組みました。真剣にネギを見て、置いて上手に作業を進めていました。私も体験させていただきましたが、一本一本ネギの長さ、太さが違うので、気を抜けない作業であることが分かりました。

その次に根を切ったネギの余計な部分を落とす作業を手で行います。一本一本の状態が違うのでよく見ながら作業をしていました。

さらに周りの皮を、エアを使った機械で削る作業に移ります。これは、5・6年生が集中して取り組んでいました。真剣な表情でネギの状態を見ながら作業を進めました。

こうしてできたネギを今度は袋詰めです。この作業は、1年生から3年生が行いました。一袋、350グラムから400グラムになるようにまとめて、袋に詰めます。私が作業に行ったときには、子どもたちが「ちょうど重さになるように頑張りました」と話しかけてくれました。

そして、午前中に全部の作業を終了しました。途中、外国語学習や他の授業に出たりした学年もあったのですが、とても効率よく仕事を進めることができました。

さんからも「今年の仕事の仕方は見事でした。とても早く終わってびっくりしました。」とお褒めの言葉をいただきました。

朴瀬小学校の児童全員の力が高まってきていることが感じられ、とても嬉しく思いました。これも大きく一歩前に進んだ出来事でした。



【ネギの製品化について指導受け，作業に取り組む子どもたち】

そして、いよいよ12日(金)、道の駅ふたついでに行き、販売体験活動です。今年、新しくオープンした道の駅ふたついで入口付近に場所をお借りして、販売体験を行いました。

販売をアピールするためのポスター等を作っていった他、JAさんのご協力で、のぼりや半纏も活用して販売することができました。

「おいしい白神ネギはいかがですか。」

「今夜の夕ご飯には、白神ネギです。ぜひ、買って行ってください」

などと、大きな声でお客さんにアピールすることができていました。

お客さんに「どちらの小学校ですか」、「自分たちで栽培したのですか」等と聞かれることもありましたが、きちんと話をして販売をしていました。

「買っていただき、ありがとうございました。」

と、感謝の気持ちを伝えることも忘れずにしておりました。

初めて話す、見知らぬ方にも、物怖じせずきちんと応対できる姿勢に朴瀬小学校の子どものたくましさを感じました。予定されていた11時30分を待たずに完売となりました。子どもたちも大いに喜びました。

保護者の皆さんも朴瀬学区の皆さんも子どもたちの様子を見ながら二ツ井までお出でくださり、買っていただきました。ありがとうございました。

この学習は JAさん、JAさん、「道の駅ふたついで」さんと多くの皆さんに支えられてできた学習でした。感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもたちもこの感謝の気持ちをもって、この学習をいつまでも忘れないでいてほしいと思います。



【道の駅ふたついで堂々の販売体験！感謝の気持ちでお客様に接することができました】